

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	文化を生きる (Introduction to Anthropology)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	ニーチェ哲学とギリシア精神		
担当者名 (Instructor)	青木 純一(AOKI JUNICHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMP2100	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

19世紀の哲学者であるニーチェが、古代ギリシア文化をいかに受容・解釈し、さらにその解釈がニーチェ自身の哲学にどのような影響を与えたかを解説していく。この解説を通じて、異文化を学ぶということの意味を追求する。

We will decipher how Nietzsche, the 19th-century philosopher, accepted and interpreted ancient Greek culture, and how this interpretation influenced Nietzsche's own philosophy. We will pursue the meaning of learning different cultures through this act of deciphering.

授業の内容 (Course Contents)

授業ではまず、ニーチェのギリシア精神の受容と解釈を『悲劇の誕生』を中心に解説する。その際に、「ディオニュソス的なもの」という概念の把握を主眼とする。次に、ニーチェの中心思想である永遠回帰について、その内容を主に『ツァラトゥストラ』を通じて解説していく。最後に、「ディオニュソス的なもの」という概念に由来する「強さのペシミズム」とニーチェにおける「ニヒリズム」の意味の連関を、『道徳の系譜学』第三論文の解説を通じて明らかにし、初期ニーチェが把握したギリシア精神の解釈が、後期のニーチェ哲学に影響を与えた様相を分析する。

In the classes, first of all, we will decipher Nietzsche's acceptance and interpretation of the Greek spirit, focusing on "The Birth of Tragedy". At that time, we will focus on grasping the concept of "the Dionysian". Next, we will decipher the contents of Nietzsche's core idea, eternal return, mainly through "Zarathustra". Finally, we will clarify the relationship between "Pessimism of Strength", derived from the concept of "the Dionysian" and the meaning of Nietzsche's "Nihilism" through deciphering the third treatise in "On the Genealogy of Morality", and analyze the way in which Nietzsche's early interpretation of the Greek spirit influenced his later philosophy.

授業計画 (Course Schedule)

1. ガイダンス
 2. 「ディオニュソス的なもの」と「アポロ的なもの」 講義
 3. 「ディオニュソス的なもの」と「アポロ的なもの」の相互関係 講義
 4. 抒情詩と音楽 講義
 5. ギリシア悲劇作家アイスキュロス、ソフォクレスに対するニーチェの評価 講義
 6. エウリピデスとソクラテス 講義及び中間テスト
 7. 永遠回帰のインスピレーションと『悦ばしき知識』における永遠回帰思想の最初の伝達 講義
 8. 『ツァラトゥストラ』第二部「ある予言者」における永遠回帰思想の伝達 講義
 9. 『ツァラトゥストラ』第二部「救済」における永遠回帰思想の伝達 講義
 10. 『ツァラトゥストラ』第三部「幻影と謎」における永遠回帰思想の伝達 講義
 11. 『ツァラトゥストラ』第三部「回癒しつつある者」における永遠回帰思想の伝達 講義
 12. 『道徳の系譜学』第三論文の解説1—『道徳の系譜学』の狙いについて 講義
 13. 『道徳の系譜学』第三論文の解説2—禁欲主義的理想について 講義
 14. 『道徳の系譜学』第三論文の解説2—ヨーロッパのニヒリズムについて 講義
- 最終テスト

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

『悲劇の誕生』『ツァラトゥストラ』『道徳の系譜学』を読んでいくので、適時予習と復習をしておくこと。毎週授業資料のスライドを用意する。また随時プリントを配布する。事前にダウンロードし、読んでおくこと。また、講義の期間中にアイスキュロス、ソフォクレス、エウリピデスの作品のうち、少なくとも1冊を読むこと。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

最終テスト(Final Test)(40%) / 出席兼コメントペーパーの内容(30%) / 授業内に行う小テスト(30%)
授業内に行う中間テストでは、参考文献に挙げる古代ギリシア悲劇の四つの作品の内の少なくとも一つを論じること。

テキスト(Textbooks)

1. ニーチェ、1966年、『悲劇の誕生』、岩波文庫 (ISBN:978-4003363911)
 2. ニーチェ、2018年、『ツァラトゥストラ』、中央公論新社 (ISBN:4122065933)
- 『悲劇の誕生』はできれば岩波文庫のものを入手して欲しい。『ツァラトゥストラ』はどの翻訳でもよいが、授業では中央公論社の文庫を用いる。『道德の系譜』は無理して購入する必要はない。授業では主にちくま学芸文庫のものを使う(参考文献を参照)。

参考文献(Readings)

1. ニーチェ、1993年、『ニーチェ全集<11>善悪の彼岸 道德の系譜』、ちくま学芸文庫 (ISBN:978-4480080813)
 2. アISKYロス、1974年1、『縛られたプロメーテウス』、岩波文庫 (ISBN:978-4003210437)
 3. ソポクレス、967年、『オイディプス王』、岩波文庫 (ISBN:978-4003210529)
 4. ソポクレス、1973年、『コロノスのオイディプス』、岩波文庫 (ISBN:978-4003210536)
 5. エウリーピデース、2013年、『ハッカイーハッコスに憑かれた女たち』、平凡社ライブラリー (ISBN:978-4003210635)
- ギリシア悲劇に関しては、『悲劇の誕生』に関連するものを挙げた。この中の少なくとも1篇を読んで、中間テスト(レポート)を書いてもらう。

その他(HP等)(Others(e.g. HP))

注意事項(Notice)